

「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」  
**Generic Drug Promotion of the Year**  
2015 年応募規定(改訂)

NPO 法人ジェネリック医薬品協議会  
2014.10.1

NPO 法人 ジェネリック医薬品協議会（以下、GEDA）は、2013 年 10 月 1 日付で、従来の「最優秀ジェネリック医薬品賞」のほかに「優秀ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」を設け両賞は隔年とする旨を告知しているが、今回更に改めこの両賞を一本化して、「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」とする。

「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」（**Generic Drug Promotion of the Year**）

**1. 受賞対象業績**

医師、歯科医師、薬剤師（病院、薬局）、大学・企業および地域団体等で、極めて積極的にジェネリック医薬品の普及推進に貢献された団体、グループ（3 名まで）および個人に対して、その功績を称え顕彰するものである。また、医薬品の品質、有効性及び安全性の確保、患者の QOL の向上等、技術的改良、独創的な機能が付加された優良なジェネリック医薬品の開発推進した団体、グループ（3 名まで）および個人に対して、その功績を称え顕彰するものである。

「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」 （賞状及び副賞 10 万円）

**2. 応募に必要な業績の説明と資料**

応募に当たっては、自薦、他薦を問わないが、いずれも上司あるいは第三者の推薦書が必要である。推薦者は、本 GEDA の会員（協賛会員社員を含む）に限る。

受賞候補者およびその代表者は、推薦書、略歴および下記の授賞の審査に必要な業績の説明および参考資料を、事務局宛に 9 部送付すること。必ずしも全ての項目は必要ではないが、その業績を説明するのに有用と思われる項目について概説し提出する。

- 1) 受賞候補者推薦書（会員による推薦書、A4 用紙 1 頁以内）  
受賞候補者の学歴、職歴（A4 用紙 1 頁以内）
- 2) 業績の説明および添付資料（A4 用紙 3 頁まで）
  - ① 普及促進における課題と背景

- ② 意義および実績（採用・納入実績、使用促進実績、売上げなど）
  - ③ 社会的評価（新聞、学会等の評価）
- 6) 添付資料（コピーでも可）
- ① 新聞、学会等の記事
  - ② その他業績を示す資料

#### 「受賞者の審査、表彰および応募要領」

### 3. 授賞の審査および表彰

いずれも予備審査はGEDA戦略会議に設置する選考委員会（委員長は理事長とする）が行い理事会で決定される。予備審査に当たっては、当該する企業および団体の委員を除いた選考委員会で協議し（E-mail会議も可）、半数以上の委員の出席の元、過半数によって決定する。賛否および優劣が同数の場合は委員長によって決定される。

毎年、12月1日より1月31日を応募期間とし、GEDAホームページおよび会員へのダイレクトメールにより広告・募集する。

尚、授賞対象の範囲は、GEDA会員、賛助会員に限らず広く応募を求めることとする。

審査は、2月末日までに行い、理事会の承認を経て最終決定され、3月15日までに受賞者、団体および受賞企業に通知するとともにホームページで公表する。表彰および受賞講演を、当年度初頭のGEDA総会において行う。

### 4. 応募要領

応募者は、上記2.の資料を9部提出する。

2015年の授賞は第2回「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」で、上記の必要書類を、平成26年12月1日より平成27年1月31日までにGEDA分室の藤田矩彦（住所はメールにてご確認ください； [ge-info2@ge-da.com](mailto:ge-info2@ge-da.com)）へご送付下さい（上記期間に必着のこと）。

（付則：本規定は平成26年10月1日より施行する。）